

<別紙2>科目の内容等

① 科目名：政治・経済 α

(ア) 科目内容： 民主政治の基本原理 日本の政治機構 現代の国際政治 現代の経済

※授業時数の都合上、扱う順序を変更・省略することがあります。

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 政治・経済の基本的な枠組みや事象を理解し、今日的な課題や問題意識を持つことにより、国際的な視野を持ちながら民主主義社会の中で主体的に生きる主権者としての意識を育むことに主眼を置きます。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,507 円（昨年度参考価格）

② 科目名：倫理 α

(ア) 科目内容： 思想の源流 西洋近現代思想

※授業時数の都合上、扱う順序を変更・省略することがあります。

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 先哲の思想や、現代社会の諸課題などを手がかりにして、倫理的な考え方（なぜそれが「よいこと」と言えるのかについての考え方）を身に付け、人間としての在り方生き方について考えていきます。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,443 円（昨年度参考価格）

③ 科目名：文化人類学

(ア) 科目内容： 文化人類学概論 日本列島の文化と世界の文化を比較（調べ学習と発表）

グローバル時代の文化の多様性等を扱う予定

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： ものごとを客観的に観察し検討する文化人類学の思考法を身に付ける。人類の文化の共通性、異質性、多様性を学習し様々な文化への理解を深めて、「人間とは」という普遍的なテーマについて考える。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無し of 予定

④ 科目名：数学 I α

(ア) 科目内容： 数と式 2次関数 図形と計量 データの分析

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養う。数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 3,544 円（昨年度参考価格）

⑤ 科目名：数学Ⅱα

- (ア) 科目内容： いろいろな式 図形と方程式 指数関数・対数関数 三角関数 微分・積分の考え
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。
概念や原理・法則などを既習の知識と関連付け、より深く体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりするための技能を身に付ける。粘り強く「柔軟に」考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度は「数学Ⅰ」と同様であるが、全体を通して質的な向上を目指す。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,777 円（昨年度参考価格）

⑥ 科目名：物理基礎

- (ア) 科目内容： 物体の運動、力と運動の法則、仕事と力学的エネルギー 熱とエネルギー
波の性質、音波 静電気と電流、電流と磁場、エネルギーとその利用
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 物理的な事物・現象についての観察・実験などを通して、物理の概念や原理・法則を学び、
科学的な見方や考え方を養います。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,667 円（昨年度参考価格）

⑦ 科目名：化学基礎

- (ア) 科目内容： 物質の構成 物質と化学結合 物質の変化
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 自然の事物、現象に関する題材から、基本的な概念、原理、法則を理解するとともに、実験や観察を通して、科学的な自然観を身につける。また物質に着目して学習することで、現代社会をより広い視野で捉え、判断する力を養う。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,530 円（昨年度参考価格）

⑧ 科目名：地学基礎

- (ア) 科目内容： 地球の形と大きさ、地球内部の層構造 プレートの運動、火山活動と地震
地球の熱収支、大気と海水の運動 宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境
地球環境の科学、日本の自然環境
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 2,718 円（昨年度参考価格）

⑨ 科目名：生物基礎

- (ア) 科目内容： [前期] 生物の特徴、生物の共通性と多様性、細胞とエネルギー、遺伝子とその働き、
遺伝情報と DNA、遺伝情報の分配、遺伝情報とタンパク質の合成
[後期] 生物の体内環境の維持、体内環境と恒常性、体内環境の維持のしくみ、生物の
多様性と生態系、植生の多様性と分布、生態系とその保全
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 地球上で互いに深い関係を保ちながら生活している多様な生物の生命現象や自然とのかか
わりを研究する生物学の基礎的な内容を学ぶ。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 2,756 円（昨年度参考価格）

⑩ 科目名：物理 α

- (ア) 科目内容： 平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と単振動、気体のエネルギーと状態変化、
波の伝わり方、音の伝わり方、光、電場、電流、電流と磁場、電磁誘導と交流、電子と
光、原子と原子核
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 物理基礎を学習した後に、さらに物理的な事物・現象に対する探究心を深め、目的意識を
もって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の
基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 2,316 円（昨年度参考価格）

⑪ 科目名：化学 α

- (ア) 科目内容： 以下の5つの大単元で構成 ①物質の状態と平衡 ②物質の変化と平衡 ③無機物質
の性質 ④有機化合物の性質 ⑤化学が果たす役割各単元内で生徒実験を実施予定
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 化学基礎を学習した後に、さらに化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を
もって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本
的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育むこと
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 3,299 円（昨年度参考価格）

⑫ 科目名：生物 α

- (ア) 科目内容： [前期] 生命現象と物質、細胞、タンパク質、呼吸、光合成、遺伝子はたらき、遺伝情
報の発現、バイオテクノロジー、生殖と発生、動物の発生、発生のしくみ、植物の発生
等
[後期] 動物の刺激の受容と反応、動物の行動、植物の環境応答、生態と環境、生態系
と多様性、生物の進化と系統など
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし
- (ウ) 目標： 生物基礎・生物で学んだことをもとに、生物学の演習問題、観察と実験などに取り組み、
生物学の原理・法則についての理解をさらに深める。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 2,428 円（昨年度参考価格）

⑬ 科目名：演劇概論

- (ア) 科目内容： 日本の近現代演劇の流れ 世界の演劇史 社会の変化と演劇の関わり
演劇と他の舞台芸術との違い 演劇上演における出演者やスタッフの役割の仕事内容。
舞台作品制作における演出の役割 グループ演出による演出体験と発表
※上記の内容について、講義・ディスカッション・調べ学習・レポート・プレゼンテーションなどの手段によって、考えを深める。
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 生徒と一緒にグループワークができる。
- (ウ) 目標： 演劇の本質や演劇の歴史などについて理解するとともに、創意工夫を生かした演劇表現を創造するために必要な技能を身につけるようにする。演劇の表現意図とそれにあった表現方法について考え、演劇作品に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。主体的・協働的に演劇の幅広い活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの子定

⑭ 科目名：戯曲研究 A

- (ア) 科目内容： 戯曲の役割と文学としての特徴 名作戯曲の作品研究 劇構造の分析
登場人物の役割および性格 短編戯曲のプロット創作
※上記の内容について、講義・ディスカッション・調べ学習・レポート・プレゼンテーションなどの手段によって、考えを深める。
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 生徒と一緒にグループワークができる。
- (ウ) 目標： 演劇における戯曲の役割と、表現の特徴を理解し、戯曲を解釈するために必要な技能を身につけるようにする。戯曲の解釈や主題を自らの視点で考え、プロット制作において表現主題を生成し、自らの意図を表現できるようにする。主体的・協働的に戯曲を解釈する活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの子定

⑮ 科目名：戯曲研究 B

- (ア) 科目内容： 戯曲創作の技法 短編戯曲の創作・相互批評 戯曲の構造や媒体による比較
※上記の内容について、講義・ディスカッション・調べ学習・レポート・プレゼンテーションなどの手段によって、考えを深める。
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 戯曲研究 A を聴講済みまたは、戯曲の基礎知識があること。
生徒と一緒にグループワークができる。
- (ウ) 目標： セリフ及びト書きの書き方や、プロットや登場人物の設定などを理解し、戯曲創作のために必要な技能を身につけるようにする。短編戯曲の創作を通して表現の意図と創造的な工夫について考え、作品の相互批評に取り組み、自己の価値観を高めて演劇に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。主体的・協働的に戯曲を創作する活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの子定